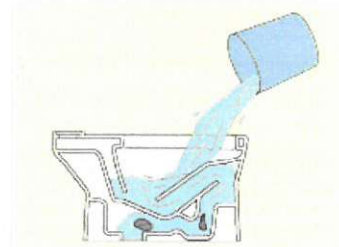


周囲に汚水が飛び散らないよう、透明のビニールシートの真ん中に穴をあけ、ラバーカップの柄を通しておきます。



便器の排水口にラバーカップを密着させ、静かに押し付け、勢いよく引きます。排水が引き込まれるまでこれを繰り返します。

つまりが取れたようなら、バケツで水を流し、スムーズに流れるかどうか確認します。このとき、いきなりタンクの水を流すと、つまりが取れていなかった場合に、便器から水があふれてしまいますので注意しましょう。



以上の作業を行っても流れが悪い、その後もつまる場合は、歯ブラシやボールペンなどの異物が残っている可能性があります。このようなものはラバーカップでは取れませんので、弊社へ依頼してください。



10. キッチン

シンク

◆天板がステンレスの場合は「もらいサビ」に注意

ステンレスはサビにくい金属ですが、釘などをステンレスに放置することによりステンレスがサビることがあります。

これが「もらいサビ」です。これは、初期の段階であれば表面的なものです。そのままにしておくと内部まで侵食されます。サビやすい金属類を長い間放置しないようにしましょう。

※ 放置された場合、退去時に費用をご請求させて頂く場合もあります。

◆こんなことにも注意

- ① 熱いフライパンなどを直接置かないでください。熱で変形・変色する恐れがあります。
- ② クレンザーや硬いブラシ類の使用は表面を傷つけるので避けてください。
- ③ ステンレスは塩素系イオンに弱いため、シンクを使っでの漂白は禁止です。
- ④ 排水口には油を流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。